

令和3年度小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人 網走福祉協会	代表者	古賀 敏朗
事業所名	大曲レインボーハイツ	管理者	折館 奈己

法人・事業所の 特徴	小規模多機能だからできる、より多機能なサービスを提供できるよう、利用者や家族の希望に対して柔軟な対応を目指しています。当事業所は団地内に隣接し、地域交流の場となっているコミュニティーセンターも隣接しています。地域住民の方々と密接に関われるよう、町内会や老人クラブ、地域のイベントに協力・参加し、施設行事にも参加していただけるよう働きかけ、地域の皆さんと顔なじみの関係を築けるよう取り組んでいます。28年12月には隣に養護老人施設「ふれあい館」も開設し、相互協力しながら大曲地域の活性化に貢献します。
---------------	---

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	人	人	人	16人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症が落ち着き、外部との関りが可能になった場合、大曲レインボーハイツの小規模多機能だからこそできるケア・サービスや特徴を職員全員に、会議や勉強会を通じて周知、実行 新規利用者・家族、地域の方へ小規模多機能の仕組みの理解、利用の仕方をわかりやすく伝えていく手段を計画し、実行できるよう進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 新規利用者やご家族へは必要な支援を提供できるよう話し合い、できるだけその利用者に必要な支援を提供できるよう協議しながら、大曲レインボーハイツだからこそできるケアやサービスを提供する事ができていた。 		<ul style="list-style-type: none"> 大曲だからできること、をモットーに地域に根差したサービスが提供できるよう今後も地域の方々との協力を得ながら維持・継続していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策を行ったうえで、施設行事の開催・地域行事への参加、引き続き進めていく。 事業所が少しでも出入りしやすい工夫を行う。 イベントや、会議等が出来る交流スペースの設置、確保。 職員の休憩スペース増設 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策を継続しながら施設内で季節行事や誕生会等のイベントを行いながら、施設利用されている利用者さんに少しでも楽しんでいただけるよう配慮した。 交流スペースや職員の休憩スペース増設の計画は、将来的に施設増床計画の中で検討する事となった。 		<ul style="list-style-type: none"> 交流スペースが元々なかったので、将来施設増築計画の中で必要なスペースを確保しながら、地域住民の方々が気軽に相談等に来ていただける施設づくりを検討していく。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民への小規模多機能の特徴と、サービスの理解を深めていくよう、取り組みを計画する。 地域の会議、催し物への参加・協力 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は管理者が交代したこともあり、取り組みを計画する事は出来なかった。 地域の会議や催し物等もほとんど中止となり参加する事は出来なかった。 		<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の中で、事業所と地域の関わりをどのようにしていけばよいのか、どのようにしたら関わりを持つことができるのかを検討していく。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 地域の会議への参加・協力 	<ul style="list-style-type: none"> 7月に地域の会議として西地区地域活動推進協議会、コミセン運営部会に代表者が参加させていただいた。 10月の部会は所要にて参加することができなかった。 		<ul style="list-style-type: none"> できる限り代表者が地域に向いて、地域住民の方々と一緒に取り組むことができる方法を検討していく。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症が落ち着くまでは書面開催継続。 現場職員の会議出席回数を増やす。 地域の方の出席が増えるよう、民生委員、児童委員、他地域の方の呼び込みを行っていく。 ご家族、地域住民に対して、運営推進会議への理解、外部評価の取り組みについての説明会等を計画し、出席率の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度もコロナ禍の中での会議等は中止し、運営推進会議は全てみなし会議として開催。書面を運営委員・家族に郵送した。 		<ul style="list-style-type: none"> 今年度もみなし会議として開催していた為委員のメンバーの皆様にお会いする機会を持てなかった。新型コロナウイルス感染症の感染が落ち着いている月などは、地域の会場を借りるなどして、開始する事を検討していく。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 地域のイベント・防災部会や地域との研修会等を通して大曲レインボーハイツをより知ってもらえる取り組みの計画 災害・防犯など地域と相互協力できる体制づくり。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は西地区地域でAED等救命講習会・防災避難訓練・外部講師による防災等の講習会等を計画していたが、全て新型コロナウイルス感染予防の観点から中止となり、参加することができなかった。 事業所の夜間想定避難訓練は施設の職員のみで実施していました。 		<ul style="list-style-type: none"> 来年度も西地区地域で防災等の取り組みの計画はあるが、地域と共にこの地域での防犯・災害対策に取り組んでいけるよう、開催が可能となった際にはできるだけ協力体制を作りながら協力していく。